

平成20年度第1回鹿児島市地域情報化推進委員会概要

1 開催日時

平成20年8月29日（金） 14:00～

2 開催場所

鹿児島市役所東別館9階特別中会議室

3 出席者

- (1) 委員13人（池堂委員、市原委員、宇都委員、久保委員、坂瀬委員、坂元委員、萩野委員長、久永委員、平田委員、吹留委員、渡邊委員、宮之原委員、森副委員長）
- (2) 事務局8人（新地企画部長、情報政策課長、情報政策課6人）

4 会次第

- (1) 開会
- (2) 企画部長あいさつ
- (3) 協議
 - ア 第二次鹿児島市地域情報化計画の今年度の取組について
 - イ その他
- (4) 閉会

5 議事の概要

(3)ア 第二次鹿児島市地域情報化計画の今年度の取組について

事務局	（資料に基づき説明）
委員長	◎は計画達成済みとして計画からはずすべきではないのか。
事務局	計画に残していきたいと考えている。例えば、17番の本市HPのように達成済みでもさらに今後充実させていくものもある。
副委員長	27番の電子納付システムの導入は、市税が電子納付をできるようになったので◎となっていると思うが、他にも電子納付で納付できるようになるものがあるのか。
事務局	使用料などまでひろげ、充実させていくことを考えている。
委員	△の中で、25番の庁内システムの最適化は検討するといっているが、職員が直接実施するのか、それとも業者へ委託するのか。
事務局	委託する。
委員	システムを構築してもそこに入るデータが充実しなければ計画は達成していないのではないかと。資料の進捗状況にある◎、○、△の3つの区分だけでは状況をきちんとあらわしていないのではないかと。
事務局	昨年度のこの会議でも指摘があったが、各施策の進捗状況を目標を入れた指標でも説明していきたいと考えている。
委員	23番の観光情報提供サービスの充実に関して、篤姫ブームもあり、広域連携に

	よるHP等の観光情報の充実させる必要がある。
委員	計画にある具体策は指標を掲載しているものがある。しかし、資料では施策ごとに件数がいれてあったりなかったりするのはどうしてか。
事務局	構築中のものなどは件数がないので入れていない。数値での実績があるものは資料に入れている。
副委員長	この資料による進捗は予算の状況だと思うが、実際はシステムの構築後などにもどのように活用していくかが問題である。
事務局	構築済みのシステムについては、本来はそのあたりをきちんと管理していく必要がある。市としては、行政評価という形で実施中の事業を検証している。
委員長	本計画における各施策の活用などの進捗状況を資料で示すことはできるか。
事務局	計画自体に指標を掲載しているものがあり、それは実際の数値を実績でお示しすることはできるものがある。
委員長	次回は資料では達成状況を数値で示してほしい。
委員	5番の学校ホームページの充実では、ブログとあるがこれはどのようなものか。
事務局	学校職員や先生が、学校行事などを学校のHPに掲載するというものである。
委員	地域情報化計画本編の14ページにある情報化による市民サービスの利用意向の状況として、住民票・年金・税金等の暮らしの情報の内容を具体的に説明してほしい。
事務局	アンケート調査なので、内容までは把握できていない。ただ、利用意向として暮らしの情報への意向が多いことから、本市HPで暮らしに役立つ情報や各種手続きなどといった区分をつくった。
委員	施策に優先順位をつけることはしないのか。
事務局	この地域情報化計画は、本市総合計画を受けて策定しており、総合計画の各施策に優先順位付けがされていないので、特にはしていない。
委員	この計画は市民サービスの向上のためにあると考えている。利用者の視点として、身近に利用するものから実施していけばよいのではないかと。
委員長	この計画はこの委員会ではなく、市で策定している。したがって、市民が利用する視点は既に取り込まれていると考えている。したがって、利用者の立場で委員会で意見を言えばよいと考える。
委員	9番の地域SNSや、15番のICT使用のメリット広報はWeb上でできるようにするなどすれば、鹿児島市のHPのアクセス数も増えることにつながると思う。28番の住民基本台帳カードの二次利用について、例えば水族館のカードと連携するなどし検討するなど、相互に連携して事業を展開していけばよい効果が生まれると思う。
事務局	利用者の視点で連携などを検討していきたいと考える。
委員	この計画は5カ年の計画であり、状況がかわることもあると思うが、計画自体の見直しもあるのか。
事務局	当然見直しもあると考える。
委員	21番の企業情報データベースの作成とあるが、このようなものは企業が自分の

	企業の情報をどんどん出してもらって初めて機能すると考えるが、これはどのようなデータベースを予定しているのか。
事務局	活用方法を含め、そのあり方から検討中である。
委員長	今回はここは詳しく説明してほしい。
委員	6番の地域公民館等での講座開催用機器及び無線LAN環境の構築として、パソコンを配備していくとあるが、OSがWindows98とVistaでは使い勝手が大きく異なるので、例えば高齢者が公民館のパソコンを使った講座で学習しても、実際に使おうとしたときそのOSの違いによる使い勝手の違いでとまどうことになると思うが、ここで配備するパソコンのOSは何を予定しているのか。
事務局	講座の目的に応じて教育委員会側で検討しているところである。
委員長	教育委員会へ確認してほしい。
委員	地域情報化計画本編の34ページにある8つの視点をどのように活用しているのか。
事務局	予算編成に活用することとしており、今年度から取り組んでいるので、来年度の予算から新規のシステム導入事業等に反映されることになる。
委員長	来年度にその関係を説明してほしい。
委員	これらの情報化計画を進めているというのは市民へ広報しているのか。
事務局	情報化計画だけで広報するのではなく、予算を発表する際に、ITを使ってこのようなことをするといった広報をする場合がある。
委員	24番の電子メールによる「わたしの提言」など、電子メールでこういうことができるといった広報がもっと必要である。自分の住んでいるまちのHPについては、自分のまちのことは結構知っているということもあり、案外見ないということも考えられ、情報が伝わりにくいという場合も考えられるので、うまく広報を行っていく必要がある。
委員長	庁内でどのようなシステムが開発されたのか情報部門への連絡はあるのか。
事務局	これまではなかった。今年度から新規に導入するシステムは事前協議を情報部門と行うこととしているので、今後は情報部門でも把握していくこととなる。
委員	この計画の取り組みのように横断的な取り組みはよいと思うが、様々な取り組みがなされているので、情報量が多くなってくると、HPなど顕著であるが、利用者がほしい情報を取り出しやすくする工夫が必要である。例えば利用者が自分の必要とするカテゴリを集めてマイページを作成できるなどの機能を区割る方法があるのではないかと。
事務局	どういった方がどのような情報をほしいということ把握することは、市のように多くの事業を抱えていると非常に困難であり、その意味で工夫を加えることが困難であることはご理解いただきたい。
副委員長	一応、市のHPでは、市民向け、事業者向けなどと大きく区分をわけ、工夫を加えているところはあるが、確かに困難であると思う。
事務局	コールセンターが情報を蓄積しつつあり、そこでのFAQをさらに活用できる

	よくなればある程度この問題に対応できていくこととなると考える。
副委員長	コールセンターは、HPでは「サンサンコール」となっており、これがコールセンターであることは一見してわかりにくい。
委員	18番の携帯電話の活用について、進捗状況を説明してほしい。
事務局	携帯電話向けの地図情報サービスは、パソコン版で29番の地理情報システムで提供するようなサービスを携帯電話でも提供していくことを検討している。
委員	この計画の推進にあたっては、予算化されたようなものもチェックして、さらによくしていくことが重要である。
事務局	従来は、それぞれの部署でシステム等は構築していたが、今後は情報部門に情報があつまることとなっており、その資料を構築する前に確認していくことでチェックの目をいれていくこととしている。
委員	市HPについても、市外の方々への情報発信も意識していく必要がある。

(3)イ その他

事務局	本日いただいたご意見やご提言等は、副市長を本部長とする「鹿児島市地域情報化推進本部会議」に報告し、各分野での取り組みに反映させていく。
-----	---